第1回まちづくりワークショップ(加東市都市計画マスタープランの見直し) 結果概要 <u>◇社地域</u>

カテゴリ	ワークショップでの提案
土地利用 市街地整備	・ゆとりある敷地の確保や交通の抑制により、快適な住宅環境を整備する ・人の流れを集約した、宅地・学校・店舗が集まった市街地を整備する ・インフラ整備も含めた、やしろ商店街の改革・活性化を行う ・商店街の近くに6次化製品を販売する集客施設を整備する ・鴨川地区に飲食店・スーパー等を誘致する ・空き家所有者に対する市の働きかけを強化する ・空き家や公園をコミュニティで活用できるよう助成する ・草刈や耕作放棄地対策など農地対策を強化する ・農業振興として6次化農業などで特産品を開発する
道路・交通	・Bio 周辺と滝野社 IC をつなぐ交通機関を整備する ・滝野社 IC に市営駐車場を設置する(安く) ・社 PA にスマートインターチェンジを設置する ・国道 372 号(バイパスも含む)に歩道を設置する ・国際学習塾の近くに駐車場を増設する ・市バスやコミュニティバスを運行する ・タクシー券を配布する ・タブレットを利用した効率の良いオンデマンドバスを運行する
河川· 上下水道	・加古川の河川改修、土からコンクリートへの工法変更を検討する
公園・緑地	・新規施設を設置する際、事前のマネージメントやメンテナンスの詳細を検討する・公園内遊具を充実し、古くなった遊具を整備する・利用者の少ない公園を活用して、児童と遊ぶイベントを開催する・老朽化が進む県立播磨中央公園の管理運営を見直す・老朽化した利用者の少ない地域公園の維持管理を見直す
自然環境景観	・自然環境を「写真映え」するように整備する ・自然を体験できるツアーを実施する ・鴨川の郷のグランピングを企画する ・観光資源 PR として東播疎水ボート観光企画を宣伝する ・闘竜灘・東条湖への観光拠点として"ふれすこ"の拡張、滝野庁舎を利用する ・市役所に情報政策課を設置し、IT 技術を利用した観光振興を行う
防災・防犯 安全安心	・地震災害時の避難場所と避難経路を確保する ・市が県立播磨中央公園を避難場所として整備する ・近隣市の災害対策を参考にする(例:小野市市庁舎へのカマド設置) ・住民に防災情報を周知する伝達システム(無線、放送、タブレット)を改善する ・国道 372 号(三草〜鴨川間)に街灯を設置する ・地域で高齢者をサポートできるよう、住民に周知し関心を高める
その他	 ・市が若手経営者を育成し、商店街の空き家で開業できるようにする ・商店街活性化のため、蚤の市などテーマを決めたイベントを開催・PR する ・加東市の PR となるインパクトある特産品の開発(例:小野市のそろばん等) ・学生がおしゃべり・勉強できる、西脇のミライエのような場所を作る ・広報物のペーパーレス化を進める ・教育施設の統合等の際、交通が混雑しないよう、施設の分散立地を検討する ・外国人労働者との交流を通じて、騒音やごみ出しのマナーを知らせる ・社地区に防犯灯を設置する



